



MESSAGE NOTES

あきらめないよう励まされている 2

ヘブル人への手紙 11:24-27

ブラウン・ジェームズ

1. この世の栄誉を求めないこと

ヘブル人への手紙 11:24 信仰によって、モーセは成人したときに、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒み、

神様は信仰によってご自身と共に歩むことを選ぶ人なら誰でも用いることができます。それはイエス様と公に結びつくことを意味します。この世の栄誉を失うことになるかもしれませんが、神様の栄誉を得るのです。その神様の栄誉に焦点を当てることにより、忍耐をするために必要な力を与えてくれます。

2. 神の家族と一つになること

ヘブル人への手紙 11:25 はかない罪の楽しみにふけるよりも、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。

私たちにも同じ選択が迫られています。神様の家族の一員となるか、それともはかない罪の楽しみにふけるか。教会こそが神様の家族なのです。共にいることによって、私たちは強くなります。

3. 神の価値観を持つこと

ヘブル人への手紙 11:26 彼は、キリストのゆえに受ける辱めを、エジプトの宝にまさる大きな富と考えました。それは、与えられる報いから目を離さなかったからでした。

イエス様をこの世の何よりも尊い存在と見なすことは、私たちの生き方を変えます。新たな価値観が生まれるのです。得られるものはるかに価値のあるものであれば、差し出すものはもはや犠牲ではありません。

まとめ

ヘブル人への手 11:27 信仰によって、彼は王の憤りを恐れることなくエジプトを立ち去りました。目に見えない方を見ているようにして、忍び通したのです。

目に見えない方を見ていることによって、私たちは耐え忍びます。イエス様は昨日も今日も、いつまでも変わられることはありません。